

問1 鎌倉時代に新しい仏教が次々と誕生した際、宋での修行を終えて帰国し、禅宗の一派である臨済宗を伝えた僧侶は誰ですか。
この人物は中国から茶の種を持ち帰り、日本における喫茶の習慣を広めたことでも知られています。（2021年 大分県公立入試 類似）

1. 栄西 2. 道元 3. 空海 4. 最澄

問2 13世紀、モンゴル帝国がユーラシア大陸の東西にまたがる広大な領域を支配したことが、当時の社会にもたらした影響として最も適切な説明はどれか。（2024年 宮城県公立入試 類似）

1. 帝国によって広域の交通網が整備され、商人や使節の往来が容易になったことで、東西の文化交流や交易が活発になった。
2. イスラム教徒の商人が長安を都として独自の経済圏を確立したため、ヨーロッパ諸国との陸路による交易は完全に遮断された。
3. 大西洋を横断する航路が発見されたことで、アジアの香辛料がヨーロッパへ直接持ち込まれるようになり、陸上のシルクロードは消滅した。
4. 欧米の列強諸国が資源を求めてアフリカやアジアへの植民地支配を強めたため、それまでの伝統的な交易ルートがすべて破壊された。

問3 1221年に起きた承久の乱の結果、日本の政治体制はどのように変化しましたか。その背景と影響として最も適切な説明を選びなさい。（2016年 高知公立入試 類似）

1. 幕府が朝廷を監視する体制が整い、幕府の支配力が西日本にまで大きく広がった。
2. 朝廷が軍勢力を強化し、幕府から政治の実権を完全に取り戻した。
3. 武士の間で内乱が激化し、鎌倉幕府が滅亡して建武の新政が始まった。
4. 貴族が政治の中心に返り咲き、執権政治が終わりを告げた。

問4 二度にわたる元寇において、鎌倉幕府は御家人を動員して元軍を退けることに成功しました。しかし、この戦いの後、幕府を支えていた御家人の生活は急速に苦しくなり、幕府に対する不満が高まる原因となりました。その背景にある、当時の恩賞に関する事情として最も適切なものはどれですか。（2019年 福島県公立入試 類似）

1. 元軍から奪い取った領地が少なかったため、十分な恩賞を与えることができなかった
2. 防衛戦であり新たな領地を獲得できなかったため、十分な恩賞を与えることができなかった
3. 執権が恩賞を独占し、九州で戦った御家人に分配しなかったため
4. 朝廷が軍費をまかなうために、御家人の領地を没収したため

問5 鎌倉時代において、栄西や道元が中国（宋）から伝えた禅宗が、武士の政権である幕府に厚く保護された理由として、その教理の特徴から考えられる説明はどれですか。（2018年 岩手県公立入試 類似）

1. 念仏を唱えるだけで救われるという教えが、多忙な武士の生活に合致したため。
2. 厳しい座禅や修行を通じて自己を鍛錬する姿勢が、武士の精神修養に適していたため。
3. 国分寺を建立して国を守るという思想が、全国を支配する幕府の権威付けに利用されたため。
4. 貴族のような華やかな儀式を重んじる作法が、武家社会の教養として取り入れられたため。

問6 鎌倉時代には、みそなどの原料となる大豆の生産が盛んになりましたが、この背景にある当時の農業の様子について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 宮城県公立入試 類似）

1. 牛馬による耕作が普及し、米の収穫が終わった後の田で麦などを栽培する二毛作が西日本から広まった。
2. 千歯こきや備中ぐわといった効率的な農具が全国に普及したことで、加工食品の原料となる作物の栽培が容易になった。
3. 鉄の刃をつけた農具が初めて使われるようになり、それまで困難だった大規模な水田開発が全国で一斉に始まった。
4. 『農業全書』などの農書が各地の農村で広く読まれるようになり、高度な施肥技術が一般の農民に定着した。

問7 承久の乱の後の統治体制について述べた次の文のうち、正しいものを選びなさい。（2018年 和歌山公立入試 類似）

1. 北条泰時・時房が初代の六波羅探題に就任し、幕府による政治の拠点が京都にも置かれた。
2. 源頼朝が全国に守護・地頭を設置した際、その中心的な指揮系統として六波羅探題が作られた。
3. 六波羅探題は、日蓮や一遍などの新しい仏教を広める僧侶を弾圧することを主な目的としていた。
4. 承久の乱に勝利した朝廷が、鎌倉の幕府軍を監視するために六波羅探題を設置した。

問8 1185年、源頼朝が朝廷から設置の許可を得て、全国の支配を強めるために置いた役職について、その配置場所と役割の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2020年 歴史公立入試 類似）

1. 国ごとに置かれた守護が軍事・警察を担い、荘園や公領ごとに置かれた地頭が年貢の徴収や土地管理を担った
2. 荘園や公領ごとに置かれた守護が土地管理を担い、国ごとに置かれた地頭が軍事・警察を担った
3. 藩ごとに置かれた守護が年貢の徴収を担い、村ごとに置かれた地頭が警察権を行使した
4. 国ごとに置かれた守護が検地を行い、荘園ごとに置かれた地頭が武士の教育を担った